

## 支援事例（埼玉県事業引継ぎ支援センター）

第三者承継

### 事業引継ぎ概要

引継ぎ対象：(株)あいであ工房

譲渡者：(株)あいであ工房 従業員数（正社員0人）

譲受者：(株)吉貞 従業員数（正社員120～140人）

譲渡方法：株式譲渡

引継ぎ期間：2018年4月（譲渡先探し）～2019年4月 約13か月

支援方法：埼玉県事業引継ぎ支援センターは買い手候補先の探索・マッチング及び株式譲渡契約締結に至るまでのプロセスをフォロー。

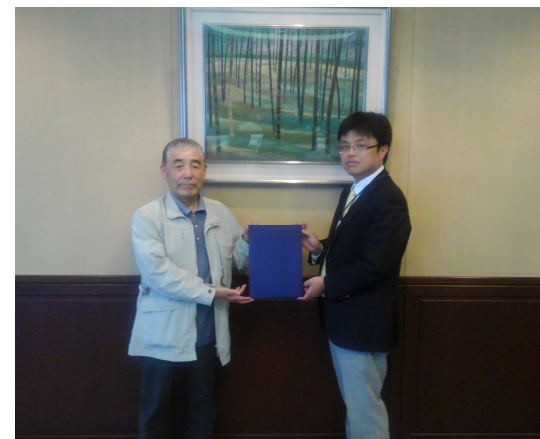
### 事業引継ぎまでの経緯

あいであ工房は、戸建てを主体とする注文住宅・リフォームを中心とした建築業。一般建設業の許可を保有。社長が業務に関する有資格者。親族・社内に後継者がおらず、許可や取引先に着目した買い手への引継ぎを希望し、地元の信用金庫の紹介で当センターに来訪。なお、社長の来生氏には、**年齢的なこともあり、早期に引継ぎを行い、経営から退きたいとの意向**があった。

従業員がいないことから、当センターで、会社の持つ建設業の許可に着目して買い手企業の探索するも、有資格者の社長が引退を前提としていることから、買い手候補が現れない状況であった。

吉貞は、群馬県で木材製品市場及びプレカット工場に永年携わっているが、**建築業許可が必要な新規分野への進出を企図し、特に埼玉県でのニーズに応えるため**取引銀行に相談。同行は、建築業の情報を有するも、規模的に吉貞のニーズに合わず、当センターを紹介。当センターが、あいであ工房とのマッチングを実施し、**来生氏が引退を考えているのであれば、吉貞側で有資格者を確保できれば、前向きに検討したい**とのことであった。

吉貞としては、有資格者を確保できれば、新たに建設業の許可取得も可能であるが、**あいであ工房の持つ地元でのネットワークを活用したグループ会社間のシナジー発揮を狙い**として、本件M&Aを選択した。



あいであ工房の社長・来生氏（左）と吉貞の社長・吉田氏（右）

### 事業引継ぎ支援センターでの対応内容

埼玉県事業引継ぎ支援センターでは、買い手候補先とのマッチングを実施。マッチング実施後は、双方の希望が合致したことから、株式譲渡契約の締結に至るまでの一連の過程をフォローした。吉貞の初回来訪は、2018年9月で、初回トップ面談は2019年2月上旬であり、面談実施後、概ね2か月で最終契約の締結に至った（売り手の初回相談からは、13か月、買い手の初回相談からは、7か月で成約）。

なお、本件譲渡企業には従業員はいないが、買い手企業の傘下となったことで、新たな雇用が見込まれる。

# 栃木県事業引継ぎ支援センター～成約事例（同業者への引継ぎ）～

## 事業引継ぎ概要

引継ぎ対象：(株)新優本店（壬生町）

譲渡者：(株)新優本店（代表取締役 巻島啓由樹 食品スーパー）

譲受者：(株)八百半フードセンター（代表取締役 片柳伸一 食品スーパー）

譲渡方法：事業譲渡

引継ぎ期間：2017年12月11日～2018年6月1日

支援方法：既に譲渡・譲受側共に事業譲渡の意思が固まっていたことから、栃木県事業引継ぎ支援センターが、マッチングコーディネーターの会計士を紹介し、デューデリ等を実施し成約となったもの。

## 事業引継ぎまでの経緯

(株)八百半フードセンターは、鹿沼市を中心に9店舗を経営する1962年6月設立の鹿沼市の老舗食品スーパー。一方(株)新優本店は、壬生町（鹿沼市の隣町）に1965年5月に設立した食品スーパー。今般、(株)新優本店の巻島社長には後継者がいないことから、従業員48名の雇用維持とお客様に迷惑をかけたくないとの思いから、同じC G Cグループの(株)八百半フードセンター片柳社長に働きかけ、事業譲渡の合意となったもので、今般、新聞等で当センターの存在を知っていた片柳社長より、事業譲渡の手続きや譲渡条件・契約書作成等の支援要請があったもの。(株)新優本店は、「かつての繁盛店」であったが、地域での競争が激化するなかで、「後継者がいないために新たな投資ができなかった」ことから、「早い段階での事業譲渡であれば上手く継続できる」と早期の決断となった。

6月14日には、(株)八百半フードセンターの10店舗目のスーパーとしてリニューアルされオープンしたが、その際、巻島社長からは、「改装してきれいになり、品ぞろえも良くなった。お客様に迷惑をかけずすんでほっとしています。」との言葉が、また数十年來の顧客の70代の女性からは「お店が減ると年寄りはいり物が大変。名前が変わってもお店が残ってよかった」とのコメントが得られた。

## 事業引継ぎ支援センターでの対応内容

本件は、同じC G Cグループのスーパーの事業譲渡で、両社長の合意が既にできていたことから、センターでは、マッチングコーディネーターと共に6回のトップ面談を実施しデューデリを実施のうえ、譲渡条件の調整・譲渡契約・賃貸契約等の手続きをサポートさせていただいた。

## 第三者承継



左から (株)八百半フードセンター 片柳専務、片柳社長、  
(株)新優本店 巻島社長、羽鳥専務



平成30年6月14日 オープン当日の様子